

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年8月8日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
京都府長岡京市東神足1-10-1

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
代表取締役社長 中島 規巨
(代理人)八日市事業所長 山川 隆司

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社村田製作所 代表取締役社長 中島 規巨
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	京都府長岡京市東神足1-10-1

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社村田製作所 八日市事業所					
事業所の所在地	滋賀県東近江市東沖野4丁目4番1号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	8	2	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 抵抗器・コンデンサー・変成器・複合部品製造業
事業の概要	ファンクショナルセラミックスをベースとした電子デバイスの研究開発・生産・販売					
従業員の数	1736	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	9	台	熱源設備	16	台
	コンプレッサ	8	台	空気調和設備	500	台
				照明設備	20000	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了年度	2024	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

「緑色セル」は、計画策定時、変更計画策定時、
報告書作成時、に毎回記入します。

以下から選択してください

区分

【計画書】

- 義務対象者・新規策定
- 義務対象者・変更
- 任意提出事業者・新規策定
- 任意提出事業者・変更

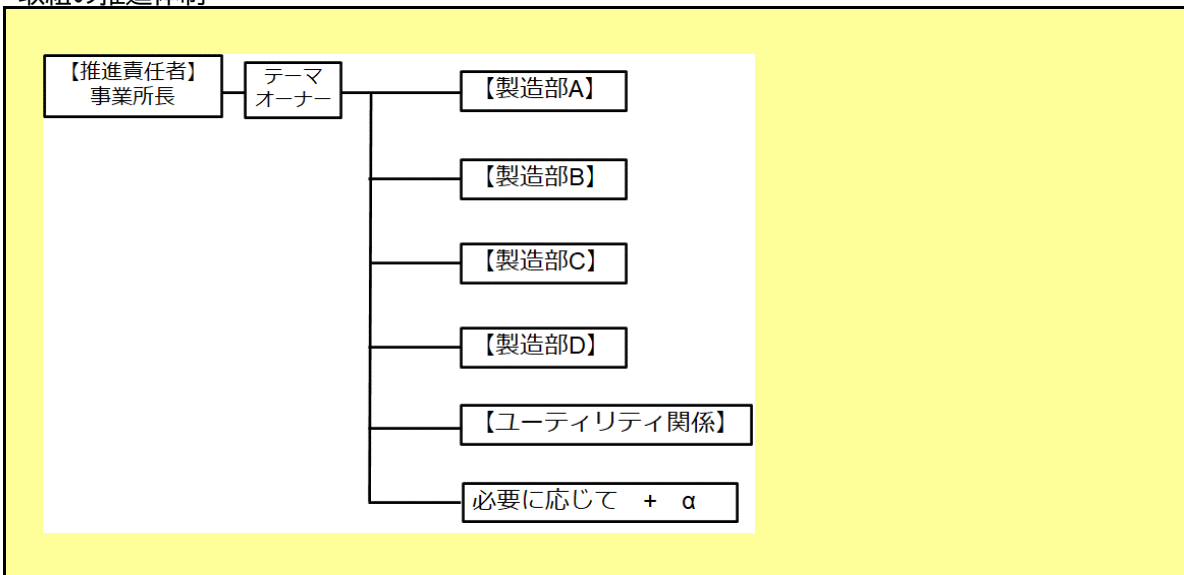
【報告書】

- 義務対象者
- 任意提出者

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

社会からの要求に応えるべく全社員一丸となり継続的な温室効果ガスの排出量削減に取組みムラタのトップを走る事業所となる

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ① 冷熱源機器の台数制御による高効率運転
- ② 焼成炉のエネルギー効率向上対策 (2020年10件+2021年9件取組追加)
- ③ 照明器具LED化工事 (2021年5件追加)
- ④ 特高変圧器の高効率変圧器へ更新
- ⑤ 設備の適正稼働(31件)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	空調見直し (22年度 3件)	22/4-25/3	1件実施済
2	運用改善	照明LED化、適切な消灯 (22年度 5件)	22/4-25/3	13件実施済
3	運用改善	設備の適正稼働 (22年度 67件)	22/4-25/3	59件実施済
4	設備導入	高効率変圧器導入(22年度 2件)	22/4-25/3	2件実施済
5	設備導入	太陽光発電 (22年度 2件)	22/4-25/3	1件実施済

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	無し	無し	無し	
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
22年度の省エネ取組みによるCO ₂ 排出量の削減目標は、前年度排出量比で4.9%の低減として活動を進める。	22年度の省エネ取組みによるCO ₂ 排出量の削減は、前年度排出量比で7.1%の低減を図っている。 排出総量は前年度の88%に抑制できているが、生産の落ち込みにより原単位は対前年度比140.4%(売上高)となっている。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	37,324	31,854			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	60,277	53,316			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	60,277	53,316			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0			
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推移						

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	工場棟屋上ソーラーパネル設置	22/8-24/3	23年秋の一部発電開始に向け取
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	カーポート型ソーラーパネル設置(検討)
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年	(2023)年	(2024)年	(2025)年	(2026)年
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	61,573	52,788				
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.385	0.400				
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2017)年	(2018)年	(2019)年	(2020)年	(2021)年
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
クレジットの購入	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	出張	電気自動車の導入	2022年度 中	実施済み
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2022)年	(2023)年	(2024)年	(2025)年	(2026)年
保有車輛の数	台	6	6				
上記のうち 次世代自動車の数	台	6	6				
特記事項		内訳(電気自動車1台、ハイブリッドカー5台)					

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				